

那珂市議会だより

Naka City Assembly News



No.37

平成25年5月9日発行

那珂市立戸多小学校入学式



平成25年那珂市議会第1回定例会

議決した主な議案等	2 ページ
平成25年度当初予算審議	4 ページ
委員会審議	6 ページ
市政を問う 11議員が一般質問	10ページ
第2回定例会開会予定	16ページ

発行／那珂市議会

編集／議会広報編集委員会

〒311-0192茨城県那珂市福田1819-5

TEL 029(298) 1111 (代表)

FAX 029(298) 6287

MAIL gikai@city.naka.lg.jp

URL <http://www.naka.lg.jp/>

平成25年度予算・条例改正など可決 議会会議規則全面改正・全員協議会の公開



平成25年第1回定例会

(3月4日～3月19日)

3月4日 本会議
(閉会中の委員会報告、議案の上程など)

3月6日 本会議
(一般質問 5名)

3月7日 本会議
(一般質問 6名)

3月8日 本会議
(議案質疑など)

3月11日
産業建設常任委員会

3月12日
教育厚生常任委員会

3月13日
総務生活常任委員会

3月19日 本会議
(委員長報告、議案採決)

議案件数と結果

市長提出議案 (44件)	
条例関係	13件 (すべて可決)
予算・決算関係	22件 (すべて承認・可決)
その他議案	9件 (すべて承認・可決・同意・報告)

議員提出議案 (5件)	
条例関係	1件 (可決)
その他議案	1件 (可決)
委員会報告	3件 (8, 9ページ参照)

議 会 改 革

当市議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会改革を推進しています。

全員協議会を公開

全員協議会は、議員全員が出席し、主に議会の議決事項以外で市の重要案件の報告説明や、議会運営など様々な内容を協議検討している会議です。今までは非公開でしたが、3月から公開しました。

議員の賛否を公表

議案に対する議員の賛成反対などを3月定例会から公表します。

議会会議規則全面改正

会議規則は、議会の会議運営の基本を定めた規則です。自治法改正による公聴会、参考人制度の追加、全員協議会を正式な会議とすること、委員会運営条項の追加など、52の条

項を追加するため全面改正しました。4月1日施行です。

市民アンケート実施

当市議会では議会改革の中で、議会や議員の基本理念などをまとめた議会基本条例制定に取り組んでいます。それに伴い、市民の議会に対する関心などをアンケートにより調査します。20歳以上の有権者、2千名を対象に4月に実施しました。

人 事 (敬称略)

教育委員会委員

中澤 明 (菅谷)

固定資産評価審査委員会委員

宮崎 郁夫

任期(4年)

平成25年4月10日

～平成29年4月9日

(額田南郷)

任期(3年)

平成25年4月1日

～平成28年3月31日

政治倫理審査会委員

武井 登 (菅谷)

農業委員会委員

寺門 弘道 (瓜連)

磯崎 芳信 (菅谷)

綿引 秀榮 (瓜連)

石崎 甲一 (豊喰)

川崎 敏明 (豊喰)

和田 正國 (戸崎)

鈴木 一三 (瓜連)

萩野谷 千恵子 (鹿島)

小田部 啓文(菅谷)

任期(2年)

平成25年4月1日

～平成27年3月31日

任期(3年)

平成25年3月31日

～平成28年3月30日

補 正 予 算

平成24年度補正予算を原案のとおり承認・可決

会 計 名	補 正 額	補正内容	補正後の総額
一般会計補正予算(第6号)	2,790 万円	子ども手当支給事業	177 億 340 万円
一般会計補正予算(第7号)	5 億 8,182 万円	基金積立事業など	182 億 8,523 万円
一般会計補正予算(第8号)	12 億 4,834 万円	道路維持補修事業など	195 億 3,357 万円
国民健康保険特別会計 (事業勘定) 補正予算(第2号)	2,506 万円	一般被保険者療養給付費など	56 億 4,056 万円
下水道事業特別会計 補正予算(第2号)	2,753 万円	起債償還元金など	21 億 6,119 万円
下水道事業特別会計 補正予算(第3号)	2 億 716 万円	公共下水道整備事業	23 億 6,835 万円
農業集落排水整備事業特別 会計補正予算(第3号)	180 万円	起債償還元金など	8 億 8,722 万円
農業集落排水整備事業特別 会計補正予算(第4号)	1 億 2,000 万円	農業集落排水整備事業	10 億 722 万円
介護保険特別会計(保険事業 勘定) 補正予算(第3号)	▲ 1,629 万円	介護サービス給付事業など	39 億 420 万円
上菅谷駅前地区土地区画整理 事業特別会計補正予算(第1号)	▲ 9,186 万円	区画整理事業費など	1 億 314 万円
後期高齢者医療特別会計 補正予算(第2号)	2,772 万円	広域連合納付金	4 億 8,102 万円
水道事業会計補正予算(第2号) (収益の支出)	56 万円	職員共済組合負担金	11 億 2,585 万円

平成25年度予算

一般会計 183億7,000万円
各種特別会計 137億6,900万円

平成25年度 一般会計予算（歳入内訳）

▲は減額

予算区分	25年度当初	構成比 (%)	前年比較増減
市税	64億4,506万円	35.1	2億8,087万円
地方交付税	38億2,283万円	20.8	2億1,283万円
国庫支出金	20億9,722万円	11.4	2億9,104万円
市債	19億7,609万円	10.7	2億2,211万円
県支出金	12億9,154万円	7.0	2億 96万円
繰入金	7億4,848万円	4.1	1億6,386万円
地方消費税交付金	4億5,300万円	2.5	14万円
諸収入	3億8,616万円	2.1	226万円
地方譲与税	2億9,050万円	1.6	▲150万円
分担金及び負担金	2億6,763万円	1.4	55万円
繰越金	2億5,000万円	1.4	0万円
使用料及び手数料	1億9,690万円	1.1	▲620万円
自動車取得税交付金	6,800万円	0.4	600万円
地方特例交付金	2,900万円	0.1	20万円
利子割交付金	1,280万円	0.1	▲237万円
財産収入	1,119万円	0.1	▲16万円
配当割交付金	1,100万円	0.1	▲60万円
交通安全対策特別交付金	850万円	0.0	0万円
株式等譲渡所得割交付金	250万円	0.0	▲8万円
ゴルフ場利用税交付金	160万円	0.0	9万円
合 計	183億7,000万円	100.0	13億7,000万円

平成25年度 一般会計予算（歳出内訳）

▲は減額

予算区分	25年度当初	構成比 (%)	前年比較増減
民生費	58億2,888万円	31.8	4億6,738万円
土木費	27億2,081万円	14.7	4億3,465万円
総務費	23億6,891万円	12.9	9,861万円
教育費	20億1,143万円	10.9	2億 236万円
公債費	19億6,548万円	10.7	▲6,634万円
衛生費	13億1,047万円	7.1	1億 633万円
消防費	9億4,955万円	5.2	▲238万円
農林水産業費	7億6,368万円	4.2	1億1,407万円
議会費	2億1,633万円	1.2	▲1,694万円
商工費	1億6,188万円	0.9	▲1,999万円
災害復旧費	5,257万円	0.3	5,225万円
予備費	2,000万円	0.1	0万円
諸支出金	1万円	0.0	0万円
合 計	183億7,000万円	100.0	13億7,000万円

議 案 審 議

議案質疑（本会議）

平成25年度一般会計予算

問 人事評価研修の目的や成果は何か。

答 人事の適正管理を目的とし、人事評価制度の浸透とレベルアップなどを実施していきます。

問 新規の元氣ナカむらづくりの事業内容は何か。

答 地域資源の発掘、元氣ナカむらづくり塾の開催など農業振興と農村の活性化をしていきます。

「総務生活常任委員会」

平成25年度一般会計予算

問 平成24年に実施した事業仕分けの成果がどの程度予算に反映されているのか。

答 前年度と比較し、廃止した民間交通安全指導員設置事業の

507万1千円を削減しています。

問 水郡線駅舎周辺監視カメラはどこに設置するのか。

答 瓜連駅、中菅谷駅、下菅谷駅の駐輪場に設置予定です。

問 コンビニ収納は、どのくらい実績があるのか。

答 利用状況は2月末で約3万件、納付額は、約4億7千万円です。

問 旅券事務は、年間どのくらいの利用があるのか。

答 パスポート発行申請は、2月末時点で

「産業建設常任委員会」

平成25年度一般会計予算

問 上菅谷駅の建設費用1億7千万円にトイレ建設費用も入っているのか。

答 駅舎とトイレを含めた予算であるが、JRとの協議により、トイレの2千万円は26年度に予定しています。

問 しどりの湯の運営管理で1950万円の委託料があり、事業仕分けでは不要というこ

とだが、平成25年度に検討して新たな運営方法が決まるのか。

答 将来的な費用や施設の改善など平成25年度には判断していきま

平成25年度水道事業会計予算

問 水道水のpH調整用薬剤は何か。pH値はどの程度で配水しているのか。

答 薬剤は苛性ソーダを使い、水質基準に従って中性のpH7前後で配水しています。



総務生活常任委員会での審議



産業建設常任委員会での審議

平成25年度 各種会計予算

会計区分	予算額	会計区分	予算額
一般会計	183億7,000万円	介護保険特別会計（保険事業勘定）	41億2,000万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	55億7,700万円	上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計	1億6,300万円
下水道事業特別会計	24億8,400万円	後期高齢者医療特別会計	4億7,100万円
公園墓地事業特別会計	1,300万円		
農業集落排水整備事業特別会計	9億4,100万円	合 計	321億3,900万円

平成25年度 水道事業会計予算

収支区分	予算額	収支区分	予算額
収益的収支	収入 11億1,786万円	資本的収支	収入 9,113万円
	支出 10億9,818万円		支出 5億8,053万円

議 案 審 議



教育厚生常任委員会での審議

「教育厚生常任委員会」
平成25年度一般会計予算

問 耐震化工事が済んでいない学校は何校あるか。
答 未実施は3校ありますが、25年度には、菅谷西小学校を国庫補助金を活用して工事を行います。

問 総合公園の緑化管理の経費がかかりすぎるのではないか。
答 総合公園は、都市公園の位置づけであるため常にきれいにしておく必要があります。委託業者は入札により選定しています。
問 新規のことも発達相談センター相談事業は緊急雇用創出事業を利用しているが、一時的な事業なのか。
答 この事業は、補助制度がなくなっても継続します。
問 不妊治療費助成事業の利用見込み者はどのくらいなのか。
答 新規で5名増を見込み45件分の予算を計上しました。
問 新規で戦没者追悼式開催事業があるが、その事業概要は。
答 無宗教、献花方式で秋に、らぼーるで開催し、招待者は300名ほどを予定しています。

平成24年度一般会計補正予算(第7号)

問 生活保護の医療扶助費が増大しているが、チェックをしているのか。
答 専門の職員が毎月レセプトを確認し、昨年度は2千万円ほど医療費の支出の削減につながりました。

総合保健福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

問 総合保健福祉センターの利用状況はどうか。
答 健康増進室の利用実績は、23年度は120回、24年度1月末までは108回です。内容は主に市の事業にかかわるものです。

新型インフルエンザ等対策本部条例

問 本部員は誰を想定しているか。

答 市長、副市長、各部長など市の職員です。

平成25年度国民健康保険特別会計(事業勘定)予算

問 特定健診の郵送料が減額されたが、受診率は上がるのか。
答 予算削減で事業が縮小するという考えではなく、市の広報等で丁寧にお知らせするなど、更に周知に努めたいと思います。

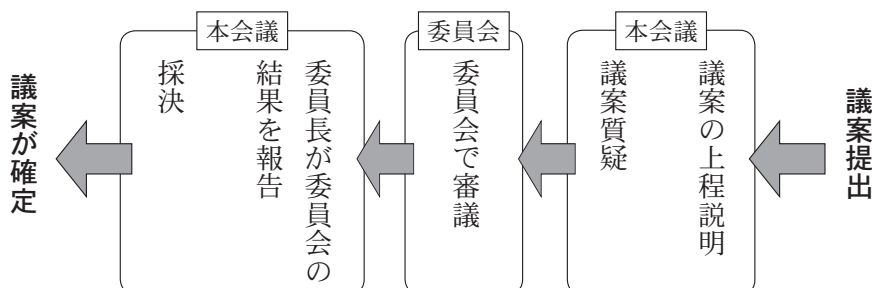
平成25年度介護保険特別会計(保険事業勘定)予算

問 生活管理指導員派遣事業とはどんなものか。
答 介護保険の要介護認定非該当の高齢者に対し、生活指導員を派遣して家事に関する支援や指導を行うもので、社会福祉協議会に委託して実施しています。

● 議会の豆知識 ●

議案審議の流れ

議案提出から議決まで、次のような流れで審議を行っています。



全員賛成により議決した議案

全員賛成により可決・承認された議案等です。賛否が分かれた議案は、下段を参照してください。

番号	件名	番号	件名
報 告		第18号	平成24年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）
第1号	専決処分について（平成24年度那珂市一般会計補正予算）（第6号）	第19号	平成24年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
第2号	専決処分の報告について（損害賠償補償事故の賠償額の決定）	第20号	平成24年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
第3号	専決処分の報告について（損害賠償補償事故の賠償額の決定）	第21号	平成24年度那珂市水道事業会計補正予算（第2号）
議案（執行部提案）		第24号	平成25年度那珂市下水道事業特別会計予算
第1号	那珂市名誉市民条例の一部を改正する条例	第25号	平成25年度那珂市公園墓地事業特別会計予算
第2号	那珂市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	第26号	平成25年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算
第3号	那珂市障害程度区分認定審査会の委員の定数を定める条例の一部を改正する条例	第27号	平成25年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算
第4号	那珂市介護保険条例の一部を改正する条例	第28号	平成25年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計予算
第5号	那珂市総合保健福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	第30号	平成25年度那珂市水道事業会計予算
第6号	那珂市公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例	第31号	公の施設の広域利用に関する協議について
第7号	那珂市農業集落排水整備事業分担金に関する条例の一部を改正する条例	第32号	市道路線の認定について
第8号	那珂市営テニスコートの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	第33号	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の設置について
第9号	那珂市災害対策基金条例	第34号	平成24年度那珂市一般会計補正予算（第8号）
第10号	那珂市指定地域密着型サービスの事業に関する基準を定める条例	第35号	平成24年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第3号）
第11号	那珂市指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準を定める条例	第36号	平成24年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第4号）
第12号	那珂市新型インフルエンザ等対策本部条例	第37号	損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定について
第13号	那珂市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	認 定	
第14号	平成24年度那珂市一般会計補正予算（第7号）	第1号	平成24年度水戸地方広域市町村圏事務組合歳入歳出決算の認定について
第15号	平成24年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	同 意	
第16号	平成24年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	第1号	那珂市教育委員会委員の任命について
第17号	平成24年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第3号）	第2号	那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について
		第3号	那珂市政治倫理審査会委員の委嘱について
		発議（議員提案）	
		第1号	農業委員会委員の推薦について
		第2号	那珂市議会会議規則の全部改正について

賛成多数により議決した議案

○：賛成 ●：反対 ※議長（福田耕四郎議員）は採決に加わりません。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議案等名	議決結果	筒井かよ子	寺門厚	小宅清史	福田耕四郎	綿引孝光	木野広宣	古川洋一	中庭正一	萩谷俊行	勝村晃夫	中崎政長	笹島猛	助川則夫	君嶋寿男	武藤博光	遠藤実	須藤博	加藤直行	石川利秋	木村静枝	海野進	木内良平
議案第22号 平成25年度那珂市一般会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第23号 平成25年度那珂市国民健康保険（事業勘定）特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第29号 平成25年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

原子力安全対策特別委員会

調査事項

- 1 住民の安全確保に関する事項
- 2 周辺の環境保全に関する事項
- 3 原子力安全協定に関する事項
- 4 核融合研究施設に関する事項
- 5 その他関連する事項

継続調査

那珂市地域防災計画の改定について

那珂市地域防災計画（原子力災害対策編）の3月中の改定に向けた作業を進めています。国の指針が随時改定されていくため、今回の改定は暫定的なものになると説明を受けました。また、防護措置や

モニタリングポストを改善

緊急事態区分等の各段階については、数値だけでは分かりにくいという意見が出され、福島原発事故での具体例を参考に説明を受けました。

本米崎小と木崎小にある2基のモニタリングポストについて、平成27年度までに非常用発電機が設置されるとの報告がありました。

気体廃棄物の放出状況

原子力事業所の気体廃棄物の放出状況については、すべての事業所において、放出管理目標値を下回っていたことを確認しました。

原発事故現場視察の実施を決定

福島原発の事故後の状況視察に関する提案



H 25.2.19 原子力安全対策特別委員会

があり、那珂市は東海原発が近く、事故が起きた現場等を確認すべきであるという意見が出され、後日、日程を調整して調査視察を実施することと決まりました。以上のことから、住民の生命及び財産を守るという観点から、引き続き調査研究を行うとともに、原子力施設への監視を続けていく必要があり、今後も継続して調査していきます。

那珂市活性化対策特別委員会

調査事項

- 1 産業の活性化に関する事項
- 2 観光の振興に関する事項
- 3 企業誘致に関する事項
- 4 土地活用に関する事項
- 5 再生可能エネルギーに関する事項
- 6 環境・防災対策に関する事項
- 7 震災復旧・復興に関する事項
- 8 その他関連する事項

継続調査

主な調査内容は、調査事項の再生可能エネルギーに関する事項です。執行部から、庁舎裏側の市有地の「一の関調節池」にソーラー発電の事業者を公募して遊休地の利活用を図る事業の業者選定結果の説明を受けました。

設置にあたり周辺の環境影響等を十分に考慮するよう事業者に徹底指導することや、今後災害発生時において、非常用電源として庁舎及び中央公民館に供給できるように受電施設整備も行うべきとの意見がありました。

当委員会では、新年度予算で市内4ヶ所の防災拠点施設にソーラーパネルを設置して災害時に対応するという市の方針を受けて、引き続き再生可能エネルギーについて調査していくことを全会一致で決定しました。



H 25.2.22 活性化対策特別委員会

議会改革特別委員会

調査事項

- 1 議会基本条例に関する事項
- 2 その他議会改革に関する事項

継続調査

議会に関する市民アンケートや 全員協議会の公開などを実施します

議会基本条例の制定を前提として、議会改革を進めていくため、今後も、多くの課題を検討していくことが必要であり、今後も継続調査すべきものとなりました。

◎第5回 1月18日

議会基本条例の作成までのスケジュールなどについて検討しました。

今後、基本条例に盛り込む個別の内容を審議検討しながら、6月頃までに基本条例の素案を作成し、その素案について、市民説明会や、パブリックコメントを実施して、9月議会での制定を目標としていくことにしました。

アンケート

市民の議会に対する関心などを把握するため4月にアンケート調査を実施することになりました。

議員の賛否状況公表

3月定例会より議員の議案に対する賛否状況を公表することになりました。

◎第6回 2月8日

議会運営に関する事項を審議しました。

会議規則全面改正

会議規則は、本会議や委員会運営の基本事項を定めている規則です。現在の会議規則は那珂町時代から継承している規則であるため、市議会の標準会議規則に改正することにしました。主な改正内容は、議員が議案を提出する場合の人数要件を緩和すること。委員会に関する規則を追加すること。全員協議会を協議の場として正式な会議として位置付けることなどです。

議員間自由討議

議員間の自由討議について検討し、議論が分かれた場合などに議員同士の自由討議なども取り入れることにしました。

ました。

◎第7回 2月21日

全員協議会の公開や非公開の要件、前回に続き議会運営に関する事項などを審議しました。

全員協議会公開

全員協議会は、3月定例会から公開し、内容によっては、非公開にもできることとしました。

議員研修の充実強化

議員研修の充実強化として、議員の政策課題研修や政策立案能力の向上を推進するため研修を充実させていくことにしました。

アンケート概要

アンケート実施概要は、4月に2千名を対象に実施していくことにしました。

◎第8回 3月8日

アンケートについて審議しました。

アンケート作成

市民の議会に対する関心などについて調査

するアンケートの内容を審議しました。4月にアンケートを実施し、5月に分析を行い、今後の議会改革などに活用していきます。



H25.2.21 議会改革特別委員会

市政を問う

Q
&
A



11人の議員が登場し、
様々な視点から
市政を質しました。

市民討議会で市の将来像の議論を

市民参画で課題解決の組織が必要

那珂市はまだまだ良
いまちに変えていくこ
とができると思いま
す。地形・立地・産業
や歴史、市民活動など
地域資源があふれてい
ますが、現状はその魅
力を活かされていま
せん。今は自治体間競
争が激しくなってい
て、どこも地元を積極
的に売り出すことに必
死です。那珂市は何で
売っていくか、何で生
き残っていくのか。こ
こで、56,000人
の那珂市民の知恵と英
知を結集してこれから
の将来像とともに語り
合おうではありません
か。出来るだけ多くの
方が議論できる場を設
定して、市民討議会を
やりませんか。老若男
女、いろいろな分野の
方が参加出来て、市の
方向性を議論し、市に
提案できる会議体を仕
掛けていただけません
か。



協働のまちづくり推進フォーラムの様子
(平成25年3月10日)

市民生活部長 協働
のまちづくりの推進の
ためには市民に参画し
ていただき、市民の視
点から市が抱える課題
を洗い出し、課題解決
のための事業を展開す
る市民会議のような組
織づくりが必要と考え
ています。

質問事項

- 1 協働体制の推進について
- 2 学童保育事業の充実につ
いて
- 3 防災体制の推進について



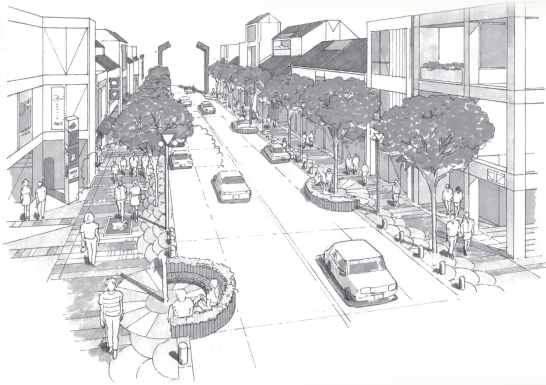
遠藤 実 議員

並木敷を有効活用して歩道整備を

事業実施に向けて県と調整を図る

菅谷ふれあい街道の事業費は、総延長2450mの買収費や補償費等で1m当り約6百万円と高額である。しかも事業に伴って店舗や事業所等が約4割減少し活性化が図られていない。市は目標達成のスケジュールと実行性のある追加策を早急に検討すべきではないか、また、旧瓜連町における未登記問題については、処理困難な104筆を先送りすればする程相続問題等が発生し整理事業費が膨大となり早期処理が求められている。更に旧国道である県道及び市道の並木敷を有効活用して歩道整備を図り事故防止対策を講じる考えは。

建設部長 ふれあい街道については、上菅谷停車場等の整備完了により地域の活性化に繋がるものと考えてお



平成3年 上菅谷・下菅谷線整備基本計画
(中心商業軸イメージスケッチより)

質問事項

1 道路行政について



石川利秋 議員

小中一貫教育導入の目的・理念は

知・徳・体を備えた人材を育てる

小中一貫教育は様々な点で大きな可能性を秘めていると感じていますが、那珂市に導入しようとする目的や教育理念はあるのか、教育長のお考えを伺います。

教育長 9年間を見通した学習や生活指導の継続性、系統性のある教育により、児童生徒の心理的負担が解消され、中学進学の際の急激な環境の変化による不適応を防ぐことができます。また発達段階の小5、6年生を考慮した教科担当制の導入により、興味ある授業内容が展開でき、同年齢・異年齢の集団活動が活発になり、人と関わる力を高めることもできます。

私は児童生徒や保護者が中学校まで那珂市で学びたい・学ばせたいという気持ちを持てる教育を行いたい、

那珂市を教育のまちにしたいと強く想っています。各中学校単位で独自の教育として取り入れ、自分の頭で考え、自分の目で見て、自分の足で歩く、知・徳・体のバランスのとれた人材を育てていきたいと考えています。



小中連携教育の一環として、小学校の陸上記録会に向けて、中学校の教員が専門的な指導を行っています

質問事項

- 1 副市長の職務と那珂市にかける想いについて
- 2 小中一貫教育について
- 3 環境学習の推進について
- 4 公金の管理運用について



古川洋一 議員

森林湖沼環境税利用で里山の保全

地域の協力と継続が必要です

山林及び林道等の保全、管理については、地権者による管理が基本であります。

しかし、近年は生産性が無く、山林の利用価値が無い等により充分な維持管理がなされておられません。このような状況により、イノシシの出没、ゴミの不法投棄の温床となつていふと考えられます。

ただし、森林湖沼環境税での事業については整備後の管理について継続して保全管理をお願いすることになりますので、地主の方、地域の皆様のご理解とご協力が必要となります。

環境整備を図る為に、地域や自治会、団体等で森林湖沼環境税を活用して整備を図りイノシシ対策、不法投棄の対策として環境税の利用は出来ないか伺います。

環境整備を図る為に、地域や自治会、団体等で森林湖沼環境税を活用して整備を図りイノシシ対策、不法投棄の対策として環境税の利用は出来ないか伺います。

産業部長 過去に「清水洞の上地区」、「印刷の森」、「洞前ため池」等で森林湖沼環境税を導入して整備をした経緯がありますのでこの税を利用することでは、可能かと考えられます。

山林及び林道等の保全、管理については、地権者による管理が基本であります。



古徳沼と周辺の山林

質問事項

- 1 山林、林道の保全、管理について



勝村晃夫 議員

家賃の補助制度を

個別補助は設けていない

実収の減少で生活費が賄えない家庭が増えています。また年金暮らしの人も増えていいます。この人達にとつて家賃が重荷になっていきます。家賃の安い公営住宅を求める人が増えているが、公営住宅の現状はどうなっているか、また、国や市の対策はあるか伺います。

建設部長 市が管理している公営住宅は280戸ほどです。平成24年度の実績では、公営住宅戸数11戸に対して、27件の応募がありました。国の公営住宅の補助としては、平成18年度までは家賃収入補助や家賃対策補助があつて、平成17年度の実績で3000万円弱の補助がありました。しかし平成18年の三位一体の改革で税源移譲により補助金が廃止となりました。現時点においては建設補助

の2分の1があります。市長 現在は財源に余裕がありません。今後消費税の増額分は全額社会保障費に投入していきたいと思ひます。

公営住宅の数と入居希望者の5年間の推移

年 度	市営住宅戸数	公募住宅戸数	申込者数	倍 率
平成20年度	299 戸	5 戸	38 名	7.60 倍
平成21年度	299 戸	11 戸	50 名	4.55 倍
平成22年度	299 戸	10 戸	50 名	5.00 倍
平成23年度	280 戸	14 戸	46 名	3.29 倍
平成24年度	280 戸	11 戸	27 名	2.45 倍

質問事項

- 1 東海第二原発の再稼働に対する6市村の首長による懇談会について
- 2 低所得者に対する家賃の補助制度を



木村静枝 議員

小中一貫教育の推進を伺いたい

那珂市独自の教育を取り入れたい

昨今の教育事情の多

教育長 学習や生活

様化において、小中一貫教育が導入されている地区があります。人間関係を構築する上で個性豊かな人材を育成する上で重要なと思います。全国で98の団体が実施しているようですが近隣の状況と、メリットなどについてはいかがですか。教育長におかれては推進したい意向があるように聞いておりますが、今後のお考えをお伺いいたします。

指導の継続性や系統的な教育で児童生徒の心理的な不安を解消出来ます。義務教育の9年間を通じて魅力ある那珂市独自の教育として郷土に対する思いを強く持ち社会人として成長する人材育成の基礎づくりをしたいです。

質問事項

- 1 小中一貫教育の推進について
- 2 青色防犯灯の設置を
- 3 市有地駐車場の舗装整備を
- 4 道路の進捗状況について



武藤博光 議員

教育次長 水戸市の国田地区で行われています。知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成が出来ており、県の平均を上回っているようです。また、小中学校の円滑な接続を行うことにより精神的な安定をもたらして着実な自己形成が出来ると言われています。



那珂市立額田小学校の児童

那珂市民の歌の普及を学校から

音楽会で全員合唱曲として使用

那珂市合併五周年を記念して、平成21年に一般公募により那珂市民の歌「輝く未来へ」と市民音頭「いいねなかな」が制定されま

れる計画はあります。か。

教育次長 今後は、

那珂市教育研究会の音楽部会が行っている、全小中学校16校が参加する那珂市小中学校音楽会に於て、全員合唱曲として使用すること考えているところがございます。

質問事項

- 1 公共施設の利用について
- 2 市庁舎周辺の環境整備について
- 3 那珂市民の歌・音頭について
- 4 がんの早期発見について



筒井かよ子 議員

今年、那珂市消防団出初め式に於て、幼稚園生200名による市民音頭のよさこいパレードが披露され、大変見応えがありました。市民が踊れて歌えることこそが郷土愛に繋がるものと考えます。まず学校行事の体育祭や音楽会の折に歌うことにより、仲間同士の連帯感が生まれ、お互いを認め合って仲良く成長出来るものと考えます。今後取り入



那珂市民の歌、那珂市民音頭のCD

市を挙げて雇用対策を充実すべき

農業公社等雇用施設設立調査検討

那珂市も今や少子高齢化社会を迎え、地方自治体間の競争が激化しており、那珂市が競争に勝ち生き残る為にも自前で財源確保すべきで、その対策として那珂市独自の特色ある産業を創出し未就労者への就労支援と雇用拡大を早急に促進する必要があります。そこで雇用対策窓口が複数あるので雇用対策推進室（仮称）等を受け一本化し総合力を発揮すべきではないでしょうか。また、農業公社や那珂市物産販売所を設置し、那珂市の雇用拡大を推進すべきではないでしょうか。

産業部長 産業活性化が雇用拡大へ繋がるということ。那珂市の基幹産業である農業の活性化が喫緊の課題です。その対策として那珂市物産販売所や農業公社の設立及び雇用拡大を図るべく調査研究していきます。



寺門 厚 議員

質問事項

- 1 雇用について
- 2 市民との協働のまちづくりについて

総務部長 雇用窓口は各々所管担当部門があり、専門性を考慮すると雇用対策推進室等の窓口一本化は現在考えておりません。現在の体制を維持していきたいと思います。



那珂市内の耕作放棄地と畑

一日も早い農地の生産性及び資産価値の向上と併せて、後継者確保を含めた雇用拡大が望まれている。

市街化調整区域内で住宅建築は

許可条件を満たせば可能

農村部の人口減少。市税増収。那珂市全体の発展を考えたとき、学校跡地等を中心として、住宅の建つ特区の指定を考えてはどうか。

市長 農地法の縛りがない区域を選ぶ作業は困難なものの、中心部以外で各地域に人々が張りつくことは大変魅力的な制度です。今後制度を運用して秩序あるまちづくりを進めてまいります。



中崎政長 議員

質問事項

- 1 農地法と当市における住宅建設について
- 2 公共工事の発注、及び落札等について



那珂市の学校教育の方針は

個性と創造力を育む教育を

学校教育の問題は時代と共に常に変化してきておりますが普遍的なテーマでもありません。「学校は社会の縮図」とか「学校が変われば地域が変わる」とも言われるように学校は地域のコミュニティの中心となっています。全国学力学習状況調査を拒否して注目を浴びた犬山市のように教育改革に先進的な自治体も出てきていますが、本那珂市においては教育への取り組み、理念、考え方などを聞かせください。

教育長 那珂市の基本方針がございましてその中で個性と創造力を育む学校づくりというのを重点目標に掲げております。自分の考えをしつかりと持つ、様々な考え方を聞いた上で自分の考えをまとめていくなどという事を繰り返すことで創



質問事項

- 1 那珂市の学校教育について



小宅清史 議員

学校耐震化について

小中学校で耐震化率90.4%

学校施設は子供の学習、生活の場であるとともに、災害時には地域住民の応急避難所としての役割を果たすため、その安全性の確保は極めて重要であります。学校施設の耐震化については、文部科学省において平成27年までのできるだけ早い時期に耐震化完了を目指すと、さきの東日本大震災の教訓も踏まえれば、那珂市においても、学校の耐震化は早急に取り組むべき課題であると思います。国の補正予算を最大限活用し、平成25年度以降に計画している耐震化の事業を可能な限り前倒しして実施していくべきと考えますが、いかがでしょうか。

教育次長 学校施設の耐震化率は平成25年3月末現在で小中学校で90.4%になってお



那珂市立額田小学校の屋内運動場

質問事項

- 1 通学路の安全対策について
- 2 防災・減災について



木野広宣 議員

議 会 日 誌

1 月		2 月	
9 日	広報編集委員会	5 日	県市議会議長会議員研修 (水戸市)
15 日	全員協議会	8 日	議会改革特別委員会
16 日	広報編集委員会	12 日	全員協議会
18 日	議会改革特別委員会	15 ～	秋田県横手市議会友好訪問
25 日	全員協議会	16 日	
		19 日	原子力安全対策特別委員会
		21 日	議会改革特別委員会
		22 日	那珂市活性化対策特別委員会
		25 日	議会運営委員会

平成25年第2回定例会開会予定

月日	曜	議 事 予 定
6・4	火	本会議 ○開会 ○議案上程など
6・6	木	本会議（一般質問）
6・7	金	本会議（一般質問）
6・10	月	本会議（一般質問） ○議案質疑 ○議案の委員会付託 ○陳情・請願の委員会付託
6・11	火	常任委員会
6・12	水	常任委員会
6・13	木	常任委員会
6・18	火	本会議 ○委員長報告など ○閉会

この会期日程は、議案件数や一般質問者数によって変更になる場合があります。

日程の変更や詳細については、議会事務局や議会ホームページでもご案内しています。お気軽にお電話、お立ち寄りください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、5月24日（金）までにお願いします。

◆◆議会録画映像を公開しています◆◆

3月定例会の録画映像をインターネットで視聴できます。「You Tube」の動画サイトに掲載しました。詳しくは、那珂市ホームページの市議会のページをご覧ください。

●●議会を傍聴しましょう●●

議会の本会議・常任委員会・特別委員会・全員協議会を公開しています。

傍聴をご希望のかたは、事前に会議の開催日や時間をご確認の上、おいでください。

傍聴の手続きは、住所・氏名を記入の上、傍聴券の交付を受けるだけです。

お気軽においでください。

3月定例会の傍聴者数85名（延べ人数）

表紙に寄せて

緊張した中にもど
こか誇らしげな表情
が感じられるピカピ
カの一年生。未来と
いう広い世界に向け
て、何があっても乗
り越えて行ける、た
くましい心と生きる
力を、身につけて欲
しいと願わずには居
られませんか。そして
将来必ずこの故郷に
帰って来て欲しい。
そんな魅力ある街づ
くりをとあらためて
思う入学式でした。

編集後記

小宅 清史



3月議会では予算も可
決され新しい年度が始
まりました。昔から
“送る月日に関守なし”
と言いますが一年が過
ぎるのは本当に早いも
のです。昨年度は議会
改革特別委員会も設置
され那珂市議会にも新
しい芽吹きが出ていま
す。那珂市議会は那珂
市行政の“関守”とし
てしっかりとその機能
を果たしていけるよう努
めていきます。

議会広報編集委員会
委員長 古川 洋一
副委員長 綿引 孝光
委員 筒井 孝子
委員 寺門 厚
委員 小宅 清史
委員 中庭 正一
委員 君嶋 寿男